

2010年2月


日本・ウズベキスタン国際シンポジウム
**「ウズベキスタンの古代文明及び宗教
— 日本文化の源流を訪ねて」のご案内**
2月15日（月）東洋大学白山キャンパス

東洋大学（東京都文京区 / 学長：竹村牧男）は、2月15日（月）に、白山キャンパスにて、日本・ウズベキスタン国際シンポジウム「ウズベキスタンの古代文明及び宗教— 日本文化の源流を訪ねて」を開催いたします。

ウズベキスタン共和国には、バーミヤンの仏教遺跡と同じ文化圏の仏教遺跡が多数存在しています。それらは、優れた美意識と深い思想とを表現しているものです。バーミヤンの仏教遺跡が近年、大きく破壊されただけに、このウズベキスタンの仏教遺跡はきわめて貴重なものです。しかもその文化と思想はシルクロードを通じて、日本にまで到達していた可能性があります。

今回の国際シンポジウムは、現在のウズベキスタンの仏教遺跡の現状と意義とを明らかにしながら、古代文明と現代文明の共生、中央アジアと東アジアの共生、仏教とイスラームの共生、多様な文化の共生など、今後の国際社会における可能性と課題について考察するものです。

多くの皆様にご来場いただきたくご案内するとともに、ぜひ取材をご検討ください。

記

日時：2009年2月15日（月）14:00～17:15

会場：東洋大学白山キャンパス 井上円了ホール

東京都文京区白山5-28-20 都営三田線「白山駅」下車徒歩5分

東京メトロ南北線「本駒込駅」下車徒歩5分

プログラムは次ページをご覧ください。

参加無料です。

参加申込：「住所・氏名・職業・電話番号」を明記の上、

2月12日（金）までにメールまたはファクスでお申し込みください。

E-mail：kyosei@toyonet.toyo.ac.jp

FAX：03-3945-8374

シンポジウムの内容および当日のお問い合わせ先

東洋大学共生思想研究センター 担当：野村英登

TEL：03-3945-8374 E-mail kyosei@toyonet.toyo.ac.jp

（平日9時～17時）

取材および記事掲載に関するお問い合わせ先〔当ニュースの発信元〕

東洋大学広報課 担当：川俣英里

TEL：03-3945-7571 E-mail：mlkoho@ml.toyonet.toyo.ac.jp

〔プログラム〕

14:00～14:20 挨拶

東洋大学総長 塩川正十郎

ウズベキスタン共和国駐日大使 H.S.カラマトフ氏

国連教育科学文化機関元事務局長 松浦晃一郎氏

東洋大学長、東洋大学共生思想研究センター・センター長 竹村牧男

14:20～16:00 発表

「大乘仏教の伝播とその思想的意義について」

東洋大学長 竹村牧男

「ウズベキスタンにおけるイスラーム以前の古代文明」

ウズベキスタン共和国 科学アカデミー会員、国家賞受賞者、上院議員

E.V.ルトゥヴラゼ氏

「大シルク・ロード上の古代信仰」

ウズベキスタン共和国駐日大使 H.S.カラマトフ氏

「ウズベキスタンの古代仏教遺跡発掘」

国立民族学博物館名誉教授 加藤九祚氏

16:10～16:50 討論

16:50～17:00 閉会の挨拶

ウズベキスタン共和国駐日大使 H.S.カラマトフ氏

17:00～17:10 特別挨拶

「新しい世代に対してNAVOI劇場を作られた日本人を記念して」

福島ウズベキスタン友好協会顧問 加藤金太郎氏

17:10～17:15 閉会の挨拶

東洋大学長 竹村牧男

主催：東洋大学共生思想研究センター

東洋大学学術研究推進センター

駐日ウズベキスタン共和国大使館

ウズベキスタン共和国科学アカデミー

ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金

日本・ウズベキスタン仏教遺跡（カラテパ）発掘調査団

後援 外務省、文化庁

協力：社団法人平城遷都1300年記念事業協会

東洋大学共生思想研究センター

<http://www.toyo.ac.jp/rc/rckp/>

東洋大学共生思想研究センターは、文部科学省平成18年度私立大学学術研究高度化推進事業のオープン・リサーチ・センター整備事業に採択された、「東洋思想に基づく「共生学」の構築」に基づき開設された研究機関です。

本学大学院文学研究科が主体となって、研究者養成と研究成果等の公開を推進しています。